

開催日：令和5年7月9日（日）

場所：三重県立美術館 会議室1、2

## 令和5年度第1回三重県立美術館協議会 開催結果

### 令和4年度事業報告について

・今回の学校美術館のように、芸術や文化に触れてもらうというのは非常に重要なことである。ただ観るだけではなく、コメントを作るというのも大変な作業だが大事なこと。今回は学校での展示ということだったが、全然知らない方に自分の作ったものを説明する、解説するということも含めていくと、面白いのでは。

・防災の問題はとても身近な問題。自分がどういうときにどのように動くかというのを、考えるのではなく体で覚えていくということが大事である。美術館は不特定多数の方が大勢いるので、誘導が重要になってくる。具体化しながら継続して訓練して行ってほしい。

### 令和5年度事業進捗状況について

・すべてが撮影可能ではなく、一部撮影可能ということだと、来館者が間違っ  
て撮影したり、SNSに載せられないものを載せてしまう可能性もないことはない  
と思う。まだ過渡期でもあるので、いい面もすごくあるが撮影を許可する場  
合には、二次利用はできない、マナーを守るようになど、明確に伝えていた  
きたい。

・撮影可能不可能があまりにも煩雑になるようなら、現場も混乱するので、展  
覧会ごと、展示室ごとで検討するということにならざるを得ない。

・写真が結果的にSNSに上がらなかったとしても、写真を撮った人たちの記憶  
に残ったり、即効性のあるようなことは確かになかったのかもしれないが、種  
を蒔く機会になったと思う。

・集客数の問題について、数だけが問題なのか。行政としては税金を使っている  
関係でその辺りに神経質になることはわかるが、一人一人が絵の前や彫刻の前  
で何を感じるか、観た人の中にどういう風に残っていくかということが、一番重  
要だと思う。入館者数だけの問題ではないということ、繰り返し言い続けてい

くしかない。

・全国的に展覧会の入場料がどんどん上がってきている。美術芸術の力を今こそ求められている。決して安くはない入場料を払ってでも来てくださる方がどんどん増えるようにさらなるご尽力をいただきたい。

・今まで三重県にこだわる内容の企画展が多かったが、集客が見込める時期には、少しそこを外していくことも考えたり、M i e M uとも、もっと連携をしていくといいと思った。

・美術館で、コンサートやパフォーマンスなどその時の展覧会に合ったものを雰囲気作りで行うのはどうか。幅広い芸術や文化の場になって、違う層の方が来館し、層が広がる。

・現在の日根野作三展は、本当に素晴らしく現代にも通じる作品で、とても水準が高いと思った。このような、埋もれているような三重県出身の方の企画をまたしていただきたい。

・日根野作三のスケッチなど素晴らしく、こんなモダンな方が三重県にいたんだと感動した。それをもっと知ってもらいたいので、来ていただきたい。やはり新聞等に載ると効果はとても大きいので、どれだけ面白いかをうまくマスコミに伝えていってほしい。SNSも疎かにせずやっていかなければいけない。

・団体の子どもたちを受け入れる体制ができているので、たくさんの団体の方に来ていただけたらと思う。小学生の間に、本物の絵というものに触れる体験をしてもらおうといいと思う。